

平成27年度岩手県立大学公開講座・滝沢キャンパス講座 概要集

No.	月日	時間	テーマ等
1	7/18 (土)	13:15 ～ 15:15 (開講式の 進行によっ ては開始が 若干早まる 場合があります)	<p>【講義テーマ】国際リニアコライダー計画 (ILC) とは</p> <p>【講師】岩手県立大学 学長 鈴木厚人</p> <p>【概要】本公開講座では、国際電子・陽電子衝突型線形加速器計画：リニアコライダー・プロジェクト (ILC) を“(1) ILC が目指す素粒子・宇宙の謎の解明とは？(2) ILC プロジェクトとはなに？(3) ILC の実現に向けて、(4) ILC の岩手県誘致と岩手の未来像”のテーマに沿って紹介します。ILC プロジェクトは50～100年に渡る長期的国際プロジェクトです。じっくりと腰を据えて計画を練り、県民の皆さんが魅力ある岩手づくりの一環として、参加されることを希望します。</p>
2	7/25 (土)	10:00 ～ 12:00	<p>【講義テーマ】日本人と中国人のコミュニケーション ～孔子の正名論と万葉集の言霊から学ぶ～</p> <p>【講師】高等教育推進センター 教授 ウヴェ・リヒタ</p> <p>【概要】日本人と中国人の一番大きな違いは、言葉とコミュニケーションの違いであると思います。中国人は物事をはっきりと言葉で表し、議論好きで、一方日本人（特に岩手の人）は、慎重で物事をはっきりと言葉で表さない人が多いです。この違いですが、原点は孔子の正名論（『論語』）や『万葉集』の言霊にあるといえます。今回のこの講義では、さらに歴史的背景にも注目しながら、隣の国でなぜ大きくコミュニケーションの取り方に違いがあるのか、解説していきたいと思っています。</p>
3		13:00 ～ 15:00	<p>【講義テーマ】「地域」から考えるイスラーム</p> <p>【講師】総合政策学部 准教授 見市建</p> <p>【概要】いわゆる「イスラーム国」がニュースの話題を独占していますが、10億人を優に超えるイスラーム教徒（ムスリム）のあり方は、国や地域により実に多様です。本講座では、イスラームの普遍性と地域性をキーワードに、講師が専門とするインドネシアを中心としたイスラームと政治や社会との関係を解き明かします。日本や岩手県におけるムスリムの現在についても言及し、今後の地域社会のあり方を考えていきます。</p>
4	8/1 (土)	10:00 ～ 12:00	<p>【講義テーマ】人をケアすること人からケアされること</p> <p>【講師】岩手医科大学附属病院 看護部長 三浦幸枝</p> <p>【概要】医療におけるケアの対象は「患者」であり、一人ひとりの尊厳を守ることがケアの原点といえます。ケアを辞書で調べると、「心配」「世話」「注意」という言葉が並んでいます。このように、ケアには相手を「配慮する」「気にかける」という意味が含まれています。私たちは日常の生活の中でも誰かをケアし、また誰かにケアされながら生活していると言えます。ケアを色々な視点から掘り下げて考え、人と人とのつながりを再認識していきたいと思っています。</p>
5		13:00 ～ 15:00	<p>【講義テーマ】3Dプリンタの基本的な原理とその応用 ～3Dプリンタの仕組みと機能、長所短所、今後の応用分野～</p> <p>【講師】ソフトウェア情報学部 教授 土井章男</p> <p>【概要】本講義では、最近、話題になっている3Dプリンタ（英語：3D printer）の仕組みと機能、3Dプリンタの長所と短所、3Dプリンタの応用分野である製造業、医療、考古学、芸術、趣味や娯楽における使用事例について解説します。また、岩手県立大学が所有する3Dプリンタで造形した人体モデル、浄瑠璃人形、人工関節などの制作苦労話、参加者間の情報交換を目的とした岩手県立大学発「いわて3Dプリンタ活用研究会」を紹介します。</p>

6		10:00 ～ 12:00	<p>【講義テーマ】経済学のトビウをあけてみよう！ ～世の中を経済学の目で見るとということ～</p> <p>【講師】総合政策学部 准教授 伊藤健宏</p> <p>【概要】経済学の考え方は、私たちが考えている以上に私たちの生活に溶け込んでいます。この講義では、まず、経済学という学問が歴史的にどのように発展・展開してきたのかについて概観します。そしてそれをふまえて、経済学が現在の日本の経済にどのように生かされているのか、経済学はこれまでどのような政策を提言してきたのか、具体的な事例を用いて平易に解説します。</p>
7	9/5 (土)	13:00 ～ 15:00	<p>【講義テーマ】躍動する世界の女性たち ～環境正義から学ぶ女性の新たな力～</p> <p>【講師】盛岡短期大学部 准教授 熊本早苗</p> <p>【概要】自然環境や生活環境と女性については接点が多いこともあり、地球規模で考えることが求められています。この講義では、ジェンダーをキーワードとして、グローバルな視点で環境問題について考えていきます。第一部では、アメリカ合衆国における環境正義をめぐる文学やメディアについて考察します。第二部では、第三世界における環境正義とアクティビズムについて考察します。環境正義のために活躍する世界の女性たちの間で、ある種共通する「新たな力」とは何なのでしょう。</p>

※当日の講義においては、内容を若干変更する場合があります。ご了承ください。